



農の未来ネット

NO.51
11月号

特定非営利活動 (NPO) 法人「農の未来ネット」

理事長：倉本器征 (東京農工大学名誉教授)

発行責任者：田沼 繁 (NPO法人農の未来ネット事務局：電話 & FAX 042-313-3620)

編集長：西村正昭

<http://www.nou-mirai.org/index.html>



武蔵大学 白雉祭 (学園祭) 参加記・・・

2013年11月1日(金)～3日(日)、武蔵大学学園祭の白雉祭が開催されました。昨年に引き続き後藤ゼミでは、みらい体験農場で栽培した米とサツマイモを使ったの出店です。米に関しては三品種、コシヒカリ・彩のかがやき・ミルキークイーンの食べ比べと販売(各10kg)、サツマイモは四品種、オキコガネ・タマユタカ・クイックスイート・パープルスイートロードの



【写真】
武蔵大学正門
の風景

つめ放題販売を実施しました。趣旨は、「学生が身をもって栽培を経験した作物で、お

米の面白さや農業について伝える事、そして販売も・・・」

金曜日は準備のみ、土曜日は人員不足という事態で、本格的な実施は日曜日のみでした。しかし、その一日だけで来場者は65名、米は売り切れ、サツマイモもクイックスイートとパープルスイートロードは完売できました。ゼミ生の商品説明が良かったのか、破格過ぎる値段だったのが効いたのか定かではありませんが。



【写真】
後藤ゼミによる米・さつまいもの展示・販売の様子

ともかくも、米の食べ比べは珍しい機会だからか面白いと評判で、サツマイモも普段目にしない品種ばかりで興味を抱いていただけました。米はやはりミルキークイーンが一番人気で、「去年食べて美味しかったから今年も来た」という方もいらっしゃいました。サツマイモは、タマユタカが干し芋用だと伝えると、難しそうな顔をして敬遠される事が多くありました。作り方を

調べて説明はしましたが、事前に一度自分たちでも作って成功しておけば説得力が増したかなと反省です。他には、無農薬栽培した稲の米糠なら欲しいという声もあり、今までは考えていませんでしたが、そういう需要もあるかと参考になりました。

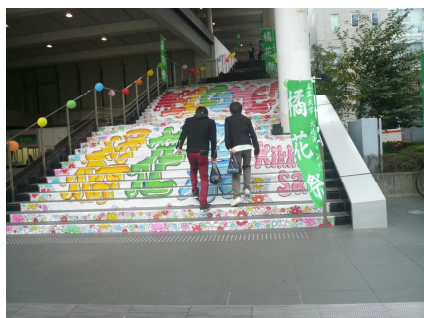
課題としては、来場者が家族連れや年配の方ばかりで、学生に関心を持ってもらえない事です。普段の食を考える良い機会だと思うのですが、どうやって興味を引くか考えていかなければいけません。

(事務局員 青木 昂平)

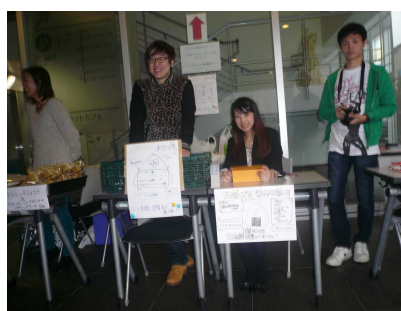
立正大学 橘花祭 (学園祭) 参加記 . . .

立正大学大崎キャンパスで開催された学園祭「橘花祭」に田沼事務局長に同行し、みらい体験農場に参加してくれている学生の活動を見学してきました。

当日は、今にも雨が降りそうな天気でしたが、キャンパスにはたくさんの学生と来場者の姿が見られました、活動発表の会場では、収穫米を用いたオニギリの販売と、みらい体験農場での活動や収穫米のまとめ



【写真】
立正大学学園祭
入口



【写真】
「彩のかがやき」
のこメを使ったお
にぎりを販売

の説明をムービーで説明する展示がされていました。農作業に参加することによって、学生の皆さんには何かを感じていただけたのだなと思いました。

【写真】
農場体験の
成果を画像で
紹介



この活動がさらに繋がり、また次の世代の農場での活躍を期待したいと考えています。年内にも立正大などでアグリボラバイトへの参加を呼びかける説明会の企画を進めている所です。

(事務局広報担当 濱田 仁)



「立正大学インターンシップ 実習報告会」に参加



立正大学(熊谷キャンパス)は、11月8日(金)に平成25年度第11期生インターンシップ実習報告会を開催。当方からは、埼玉産直センターは収穫祭(11月9日)開催もあり、残念ながら、農の未来ネットが

ら筆者1人の参加となった。

立正大学のインターンシップの取り組みは、平成25年度実績でみると、ガイダン



【写真】
司会する酒
巻さん（左
側）と遠藤
さん

ス参加者が1647名、そのうち、インターンシップ実習に企業・団体19業種に270名が参加している。実に積極的な取り組みであるという印象を持った。

実習報告会は、2つの教室に分かれ、それぞれ6グループが報告した。当方が受け入れた酒巻さん（福祉学部3年）、遠藤さん（法学部3年）はGグループで報告。報告はパワーポイントを使い、仕事内容や組織、仕事、知識などのテーマ別に、実習前と実習後の変化について行われた。例えば、「仕事」では、実習前は「一人で黙々と仕事をする」と思っていたが、実習後は「コミュニケーションが必要」と感じた。さらに、個人目標も発表。酒巻さんは「社会人になるまでに自分の強み弱みを理解し、少しでも弱みをなくしたい。また、自分の行動に責任を持つことや、客観に自分のことをみることができるようになりたい。」と、遠藤さんは「あいさつやコミュニケーション等を社会人にとって当たり前のようにする。」と抱負を述べています。実習報告会は15時15分まで



【写真】
実習生のみ
なさんと

まで開かれた。懇親会場に舞台を移して懇談。この会場は酒巻さんと遠藤さんが司会・進行（写真）を務めました。インターンシップ実習生のこれからの活躍に期待したいと思います。

（事務局長 田沼 繁）

サロン学習会のお知らせ

再生可能エネルギーの可能性
～そして農村の役割～

東京農業大学総合研究所の両角和夫教授を迎えて**サロン学習会を開催**します。

太陽光、風力、水力、地熱、そしてバイオマス。近年、これら再生可能エネルギー（自然エネルギー）が電源エネルギーとして注目されています。とくに、東日本大震災と福島第一原発事故後、再生可能エネルギーに対する注目度が高まっていますが、電気事業連合会によると、再生可能エネルギーは全エネルギーのわずか1%（2010年度）です。そこで、農村における小水力、風力等がどのくらいの可能性を秘めているのか、また、この取り組みによって農村の活性化は可能なのかについて考えます。

また、当日は、国産素材を95%使ってワ

